

2020.10.19 <計2枚>

福島県政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

大人も子どもも一緒に漢字の世界を探検しよう！

第14回福島漢字探検隊「漢字クイズ大会」開催

日時：2020年10月31日（土）12:00～17:00

場所：福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館

立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、子どもから大人まで楽しめるイベント、福島漢字探検隊「漢字クイズ大会」を開催いたします。

漢字探検隊は、体験を通して漢字文化に親しむことを目的としたものです。2007年の初開催以来、全国の会場で実施し、今回で通算213回を数えます。福島県では、2011年以降開催しており、今回で14回目となります。毎回、福島大学の教員や学生の皆さんに、多大な協力をいただいています。

今回は、参加すると漢字グッズなどがもらえる漢字クイズ大会や画数ビンゴ大会、漢字をテーマにしたパズルやゲームのほか、名前を古代文字で書いてもらえる企画を用意しています。また、来場の希望者全員に、古代文字で名前を記した短冊をプレゼントします。

記

日時：2020年10月31日（土）12:00～17:00

※企画の詳細は別紙をご覧ください。

会場：福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館（〒960-8044 福島市早稲町1-1）
1階「にぎわい広場」

参加費：無料

申込：クイズ大会のみ事前申込要。その他の企画は不要。当日会場に直接お越しください。

主催：学校法人立命館、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所

協力：福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館（公益財団法人福島市振興公社）、国立大学法人福島大学

後援：福島県教育委員会、福島市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島放送、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、立命館アカデミックセンター

※新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から、会場は密にならないよう配慮し、ブースごとに入場制限させていただく場合がございます。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠キャンパス地域連携課内 白川研文化事業事務局 担当：久保・荒木

TEL.075-466-3776（平日9:00～17:00）

<http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/re/k-rsc/sio/>

●企画詳細

【漢字クイズ大会】 事前申込制(右の QR コードから)。

- ・小学生 1～3 年生の部 ①12:00～ ③14:00～
- ・小学生 4～6 年生の部 ②13:00～ ⑤16:00～
- ・中学生以上の部 ④15:00～



※定員は各回 20 人、先着順です。定員を超えたときはキャンセル待ちとなります。

※何回申し込んでいただいてもかまいませんが、定員を超えたときはこちらから参加いただく回を指定いたします。ご自分の上の学年の回にもご参加いただけます。

【漢字あそび】 12:00～17:00 各ブース 5 人程度

漢字のパズルやゲームで楽しく遊びます。

【古代文字で名前を書いてもらおう】 14:00～17:00 ※途中休憩があります

講師の澁澤尚先生(福島大学)に名前を古代文字で書いてもらいます。

【白川静と東洋文字文化ミニ展示】 12:00～17:00

白川静博士の一生を写真と著作でたどります。白川先生の等身大パネルも登場。

【金子都美絵『漢字の風景』展】 12:00～17:00

美しい絵で漢字の成り立ちの世界をえがく金子都美絵さんの作品展です。

【漢字のご先祖様に会おう】 12:00～17:00

亀の甲羅や牛骨に彫られた甲骨文、青銅器に鋳込まれた金文、木や竹の札に書かれた隸書など、昔の漢字を見ることができます(展示品はレプリカです)。

【画数ビンゴ大会】 16:30～17:00

漢字の本やグッズなどが当たるビンゴ大会。漢字の画数が幸運の数字となります(定員 40 人)。

<白川静(1910-2006)について>

福井県生まれ。小学校卒業後、大阪で働きながら夜学に通った後、立命館大学で学び、教鞭を執る。漢字の源である甲骨文字・金文の綿密な解説に基づき、古代中国の社会と文化を理解し、それまでの学問を一新する「白川学」を構築する。70 歳を越えてから、自らの学説に基づく字源字書『字統』、日本語と漢字の出会いを探った古語辞典『字訓』、漢和辞典の最高峰『字通』の字書三部作を刊行。これらの業績により、1998 年文化功労者として顕彰され、2004 年に文化勲章を受章した。

<立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所について>

2005 年、立命館大学衣笠キャンパスに設立。白川静名誉教授の研究成果をもとに、広く社会一般を対象とした教育・普及活動を行うとともに、東洋文字文化研究の振興と高度化をはかることを目的としている。また、国内外とりわけ東アジアを中心とした地域へ「白川文字学」を発信し、東アジアにおける東洋文字文化研究の拠点化を目指している。